



履修証明プログラム 学校福祉 2020

教育、福祉、心理の視点から
子どもと学校が抱える福祉的課題に
総合的にアプローチできる専門性を養います

▶こんな方に

学校の教員、教職経験者、
スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、
教育相談、放課後児童支援、学童保育指導、
特別支援教育などの専門職の方、
社会福祉協議会、地域包括支援センター、
児童福祉施設、行政などの職員の方、
本プログラムに興味があるすべての方



定員

50名 (最小開講人数：10名)

会場

日本福祉大学 東海キャンパス

〒477-0031 愛知県東海市大田町川南新田 229 番地
名鉄「太田川駅」より徒歩5分

※駐車場のご用意はありません。公共交通機関をご利用ください。

受講料(税込)

一般 48,000円 | 本学園関係者(卒業生等) 43,000円

貧困・虐待・不登校・いじめ・暴力・発達障害をはじめとするさまざまな生きづらさを抱えた子どもたちを支援するために、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの養成と学校への配置、教師を含めた多職種連携(チーム学校)が進められてきました。とはいえ、子どもたちを支援する専門職者はまだ十分ではありません。

そこで日本福祉大学では、子ども支援関係の仕事に従事していたり、その意志のある人たちを対象として、教育・福祉・心理にかかわる基礎的かつ実践的な知見やスキルを身につけてもらうための履修証明プログラム(学校福祉)をスタートさせます。

社会福祉総合研修センター

〒460-0012 名古屋市中区千代田 5-22-35

TEL : 052-242-3069 (平日 10時~17時)

Email : ckjimu@ml.n-fukushi.ac.jp

問合せ
申込先

履修証明プログラム(学校福祉)
申込み WEB サイトはこちらから!



講義日	時間	タイトル	学習内容
2020年 5月30日	10:00-12:00	いまなぜ学校福祉なのか	学校の持つ福祉的機能の内発的発展
	13:00-15:00	教育と福祉をつなぐ(1)	福祉に内在する教育的機能
	15:15-17:15	教育と福祉をつなぐ(2)	社会的養育の今日的課題
6月20日	10:00-12:00	生きづらさの窓を開く(1)	学校から排除された子どもたち ー教育職から見た子どもの苦悩
	13:00-15:00	21世紀教育改革の諸相と真相	ゼロトレ、PDCA、学校スタンダードを問う
	15:15-17:15	教育観・子ども観の転換と学校制度	生活主体としての子ども、学校改革の新しい動向
7月4日	10:00-12:00	生きづらさの窓を開く(2)	非行をする少年の現状、子どもの人権擁護
	13:00-15:00	少年非行と法務相談、就労	貧困・虐待 ー家庭から排除された子どもたち
	15:15-17:15	子どもと地域福祉	福祉教育が支える主体形成
7月18日	10:00-12:00	生きづらさの窓を開く(3)	発達障害を抱えた子どもをもつ親として
	13:00-15:00	医療から見える学校と子ども	発達障害を抱えた子どもにとっての発達環境
	15:15-17:15	相談室から見える学校と子ども	発達障害を抱えた子どもと学校適応過剰
7月25日	10:00-12:00	子どもとともに生きる ー保育士	他職種との連携を活かして
	13:00-15:00	子どもとともに生きる ー小学校教諭	他職種との連携を活かして
	15:15-17:15	子どもとともに生きる ー特別支援学校教諭	他職種との連携を活かして
9月5日	10:00-12:00	子ども・家族支援と多職種連携	心理職固有のアセスメント
	13:00-15:00	個別支援と多職種連携	福祉職固有のアセスメント
	15:15-17:15	多職種連携の現状と課題	チーム医療からの提案
9月19日	10:00-12:00	学校福祉援助演習(1)	個人援助技法の基礎
	13:00-15:00	学校福祉援助演習(2)	エコマップ、生育歴が気づきをつなぐ
	15:15-17:15	学校福祉援助演習(3)	学校アセスメント・地域アセスメントの進め方
10月10日	10:00-12:00	教育実践演習(1)	実践記録を読む
	13:00-15:00	教育実践演習(2)	実践記録を書く
	15:15-17:15	教育実践演習(3)	実践記録を分析する
10月31日	10:00-12:00	学校福祉演習(1)	地域福祉と子どもの生活
	13:00-15:00	学校福祉演習(2)	子どものための地域包括支援における多職種協働実践
	15:15-17:15	子どもの権利条約の意義と課題	【特別講演】競争的教育環境と専門職
11月14日	10:00-12:00	学校福祉演習(3)	実践研究報告会(1)
	13:00-15:00	学校福祉演習(4)	実践研究報告会(2)
	15:15-17:15	総括討論	【シンポジウム】学校福祉のための多職種協働
11月21日	10:00-17:15	補講日	
11月28日	10:00-12:00	修了試験	

受講申込みについて

受講資格

主に社会人の方を対象とし、大学入学資格を有する方
 ※高等学校卒業またはこれと同等(高等学校卒業程度認定試験合格)

申込方法

- ・下記の書類一式を角型第2号封筒に入れ、郵送してください。
- ・郵送の際は封筒の表面に「書類在中」と朱記してください。また、封筒の裏面には申込者の住所・氏名を記載してください。

提出書類

- ① 受講申込書(所定の書式) 1通
- ② 最終出身学校の卒業証明書または卒業見込証明書の原本 1通

※②については、取寄せに時間がかかりますので早めの準備をおすすめいたします
 ※証明書が旧姓で記載されている場合は、①の申込書「旧姓名欄」に必ず記載ください

書類送付先

〒460-0012 名古屋市中区千代田5-22-35
 社会福祉総合研修センター内「履修証明」係宛

書類受付期間

2020年4月6日(月)～2020年5月8日(金)(当日消印有効)

※これを過ぎた消印のものは受理せず、郵送された申込書などは返送しません

選考

選考料：無料
 申請書類に基づき選考します
 (応募多数の場合、本プログラムの受講が業務上必要な方を優先して選考します)

受講者発表予定日

2020年5月20日(水)に可否に関わらずEメールにて通知します。
 (受講申込書に、必ずパソコンからの受信可能なEメールアドレスを記載ください)



「履修証明制度」とは?

社会人などを対象とした新しい履修・学習の証明制度です。
 2007年度の学校教育法改正によって誕生した制度で、大学などが一定のまとまりのある学習プログラム(履修証明プログラム)を開発し、修了者に対して、法に基づく履修証明書(Certificate)を交付する制度です。
 本学が指定する科目群を履修することで、特定分野の学習を体系的に行ったことが認証されます。

- 当プログラム修了要件
 - ・全講座を受講し、実践研究報告会で報告すること
 - ・修了試験(学校福祉にかかわる論述)を受験し、合格すること

修了証

修了要件を満たした方には、学校教育法に基づく履修証明制度により、日本福祉大学より「履修証明書(学校福祉)」を授与します
 ※2020年度については日本福祉大学による単位認定はありません